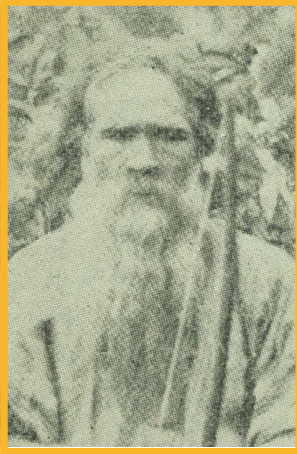


# 開拓財産 ～むかしのどうぐ～

【アイヌの人々と近代開拓】

テーマ1：学校(2)

北海道開拓はさまざまな地域住民の関わりにより進められてきました。当コーナーでは前号から、アイヌ民族による近代平取の学校づくりの貢献について、開拓財産展示施設のテーマに沿って紹介しています。



平村ペンリウク  
(1833-1903)

明治 12(1879) 年に英国人のキリスト教宣教師、ジョン・バチラーが初めて平取を訪れました。アイヌ民族への伝道を志していたバチラーは、平取コタンの首長である平村ペンリウク(駒吉)からアイヌ語を教わりました。バチラーが懸命に地域の言葉を学ぶ姿勢はアイヌの人々の心を打ち、教育の必要を痛感させたと言われています。

翌年の明治 13(1880) 年に北海道で2番目、平取では初めてとなるアイヌ児童の教育を目的とした佐瑠太小学校平取分校が設立されました。

ペンリウクは学校の誘致に率先して協力し、児童の就学を奨励しました。

また、義経神社の下にあった小屋を校舎として提供しましたが、その場所は当時のコタンの中心でもありました。バチラーとの出会いは、ペンリウクの学校教育への思いに影響を及ぼしたと考えられます。(廣岡絵美)

◆文中の人名は敬称略



(写真1) 戦前に建てられた平取小学校の4代目校舎。昭和47(1972)年頃。国道237号線沿いにあった。現在は特別養護老人ホーム平取かつら園が所在する(この写真は開拓財産展示施設にてご覧いただけます)。

表1【平取小学校 校舎の変遷】\*

使用期間	所在地	建物の構造
明治13(1880)年 ～明治34(1901)年	現在の義経神社の下 (駐車場付近)	茅葺き
明治34(1901)年 ～大正5(1916)年	現在の平取消防署 (本町37-1)	木造平屋建て
大正5(1916)年 ～昭和18(1943)年	現在の平取かつら園 (本町17-1)	木造平屋建て
昭和18(1943)年 ～昭和52(1977)年	現在の平取かつら園 (本町17-1)	木造2階建て (写真1)
昭和52(1977)年 ～現在	本町105-6	鉄筋コンクリート造

表2【平取小学校 名称の変遷】\*

期間	名称
明治13(1880)年 ～大正8(1919)年	簡易科佐瑠太小学校平取分校**
大正8(1919)年 ～昭和16(1941)年	平取尋常高等小学校
昭和16(1941)年 ～昭和22(1947)年	平取国民学校
昭和22(1947)年 ～現在	平取小学校

\*表1, 2は『飛躍 創立百年記念誌』(1978)を元に作成した  
\*\*明治28(1895)年には修業年限3カ年の尋常小学校となるが  
前述の記念誌で「改称」と明記された名称のみを記載した

参考：平取町 1952『平取町開村五十年史』、仁多見巖訳編 1965『ジョン・バチラーの手紙』、平取町 1974『平取町史』、平取小学校創立百年記念協賛会 1978『飛躍 創立百年記念誌』

## 開拓財産展示施設 見学のご案内

【開館日時】\*変更の場合あり

5～11月の月・水・金曜日(祝日休館) 9:00～12:00  
上記以外の日程のご見学についてはお問合せ下さい。

【ご予約・お問合せ】

平取町立二風谷アイヌ文化博物館 ☎01457-2-2892  
または 沙流川歴史館 ☎01457-2-4085